

# 講義・演習コース実施報告

講義・演習コース 2：令和元年 9月4日（水）～9月6日（金）

## 1. 目的

就業を希望する者に対し、最近における看護知識・技術を修得させ、未就業看護職に再就職を促すとともに就業の継続支援を目的とする。

## 2. 開催日

講義・演習コース 1：令和元年 9 月 4 日（木）～9 月 6 日（金）

## 3. 開催場所

宮崎県看護等研修センター・県立看護大学 臨床実習室 I

## 4. プログラム

(講師敬称略)

| 回数   | 午前                                                                                                                                                                                              | 午後                                                                                                                                        |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 日目 | 開講式 (9:30～9:40)<br>会長あいさつ<br>・看護の動向 (9:40～10:30)<br>看護に係る社会環境の変化や最近の看護に関する動き等を学ぶ<br>宮崎県ナースセンター長<br>・復職支援講座 (10:40～11:30)<br>自己紹介・意見交換 (11:30～12:00)<br>再就業への意欲をさらに高め、受講生間の交流を深める<br>ナースセンター担当職員 | 医療事故防止の現状と課題<br>(13:00～15:00)<br>身近に起こりうる医療事故について知り、予防策について学ぶ<br>宮崎医療センター病院<br>医療安全管理室副室長 黒田伸一<br>ナースセンター登録の支援                            |
| 2 日目 | オリエンテーション<br>与薬と看護 (注射法) (9:30～12:00)<br>治療に伴う看護技術のうち、身体に直接影響を及ぼす与薬について理解を深める。本単元では、「注射」技術を修得する。<br>宮崎県立看護大学 助教 中角吉伸<br>演習支援： 助教 坂井謙次<br>助手 原村幸代<br>ナースセンター                                     | 移動の動作の援助 (13:00～13:30)<br>看護の対象者、看護者双方の安全、安楽を守るために必要なボディメカニクスを確認し、移動動作の援助を中心とした基本技術を修得する。<br>宮崎県立看護大学 助教 坂井謙次<br>演習支援： 助手 原村幸代<br>ナースセンター |
| 3 日目 | フィジカルアセスメント (9:30～12:00)<br>身体機能面から見た急変時フィジカルアセスメントのとらえ方とエビデンスに基づいた呼吸器・循環器について理解する<br>県立日南病院<br>集中ケア認定看護師 堀口彰一                                                                                  |                                                                                                                                           |

## 5. 受講者背景

① 受講者：11名

(未就業者 11名)

② 取得看護免許

保健師 1名 看護師 8名 准看護師 1名

③ 年齢：29～69歳 (平均 41.4歳)

| 年代     | 受講生数 | 構成比 |
|--------|------|-----|
| ～29歳   | 1    | 9%  |
| 30～39歳 | 3    | 27% |
| 40～49歳 | 4    | 37% |
| 50～59歳 | 2    | 18% |
| 60歳以上  | 1    | 9%  |

④ 看護職経験年数：0年～32年 (平均 8.1年)

| 経験年数     | 受講生数 | 構成比 |
|----------|------|-----|
| 1年未満     | 3    | 27% |
| 1～5年未満   | 4    | 37% |
| 5～10年未満  | 1    | 9%  |
| 10～20年未満 | 1    | 9%  |
| 20年以上    | 2    | 18% |

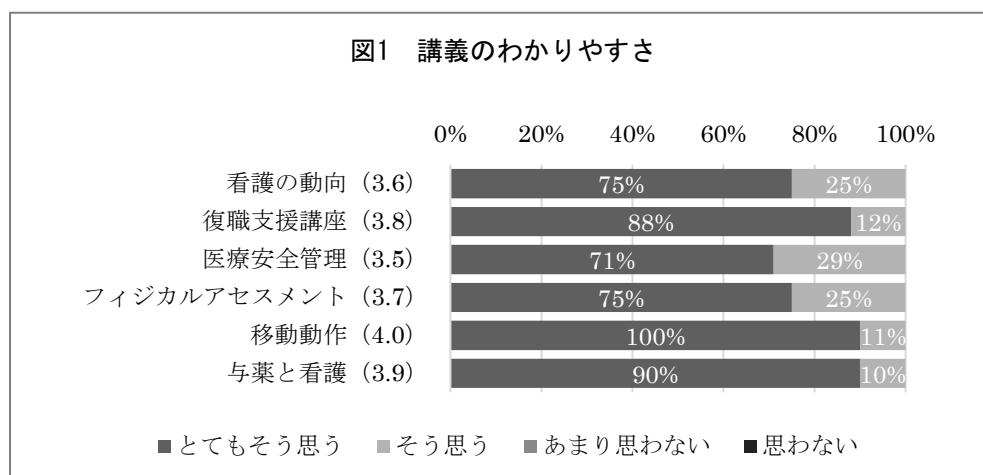
⑤ 未就業者 11名の最終離職(または免許取得)から受講までの期間(ブランク期間)  
0.1年～16年 (平均 4.4年)

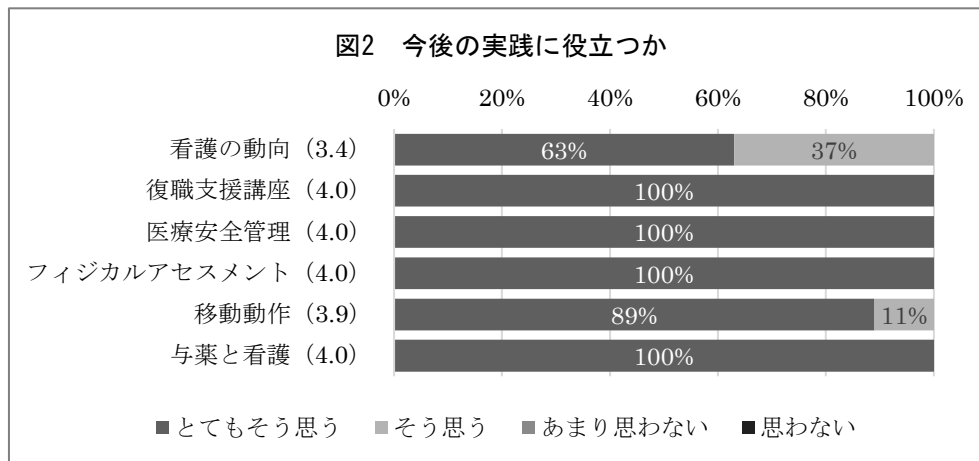
| ブランク期間   | 受講生数 | 構成比 |
|----------|------|-----|
| 1年未満     | 5    | 48% |
| 1～5年未満   | 2    | 18% |
| 5～10年未満  | 2    | 18% |
| 10～20年未満 | 2    | 18% |
| 20年以上    | 0    | 0%  |

## 6. 結果

各講義について、＜理解度(わかりやすさ)＞＜今後の実践に役立つか＞について4段階評価尺度と自由記述方式によるアンケート結果で示した。

### 【1】各講義のアンケート結果





## 【2】自己紹介・意見交換

### 1) 内容

#### (1) 目標

受講生間の交流を深め、再就業への意欲をさらに高める

#### (2) 内容

- ・ アイスブレイクと受講生自己紹介
- ・ 意見交換

## 【3】受講しての感想

- ・ 冷静な判断と考えながら行動することが大切だということを改めて思いました。これまで学んできた基礎的な部分を忘れていたこともあったので、自信を持って看護できるように、知識の学び直しを行っていきたいと思います。また、様々な研修に参加していきたいと思っています。
- ・ 研修を受けることで思い出せた部分もあったが、技術に関してはまだまだ不安も多く残ります。研修に参加したことで、その気持ちが少しは軽くなったと思います。
- ・ 現場から離れてまだそれ程時間は経っていないが根拠等忘れていた事もあり、それを改めて学ぶ事ができた。また、現場であまり経験ができなかった技術等を実施する事が出来たため、復職にむけての良い研修となった。
- ・ 長い間、医療の現場から離れ、今回この講座に参加することもとても不安でしたが、実際に参加してみて、一からご指導して頂き、大変有難い時間を過ごすことができました。
- ・ 自分の技術や知識では今すぐにでも復職したいという気持ちには繋がりませんでしたが、もっと学びたい、現場に復帰したいという気持ちになりました。
- ・ 看護のレベルアップ、情報を得たいと思っていましたが、真にその必要性を一層感じました。今後は大学レベルの看護師の必要性の意味も分かったような気がします。
- ・ この3日間の研修を通して、自分の看護師としての知識、技術面においての程度も知る事ができました。もう一度、知識の振り返り、技術面を身につけていく必要性を感じました。とてもよい学びができました。今後に役立てていきたいと思っています。
- ・ 3日間を通して、看護者としてすぐに実践できるノウハウを伝えていただき、視野を広げさせていただきました。就職後、すぐに役立てられそうです。就職への不安軽減にもつながりました。
- ・ 車イスや注射器など使わせて頂き、改めて患者さんに少しでも不安の少ない環境づくりが大切なのかを学ぶことができました。今後の就職に役立てていきたいと思っています。

#### 【4】取り入れてほしい講義

- ・ 演習の時間をもう少し長くって頂けるともっと良かった。
- ・ 与薬等、注射の技術をもっと時間をかけて講義があると良いと思いました。吸引の講義があると良いと思いました。

#### 7 まとめ

今年度から復職支援研修と名称を変更した。昨年に引き続き、年間を通じてのプログラムを小冊子にし、案内を行った。講義・演習コース（3日間）として3回開催することとした。

##### 1) 受講者数について

広報等は、情報誌、新聞、市町村広報誌、ハローワーク等で行った。研修の申し込みは、15名だったが、最終的に11名の参加となった。キャンセルとなったのは体調不良など様々な理由があった。受講申し込みは増えているようなので広報の効果は出ているものとする。

各講義ではグループワークする場面が多くあり、まとまりのよい集団となっていた。

##### 2) 受講者の背景について

今回の受講者の平均年齢は、40.2歳だった。経験年数は、約6年で5年未満が一番多かった。プランクも5年未満が約7割だった。

##### 2) 講義内容について

講義については、アンケート調査結果からも満足度の高い内容となっている。アンケートの内容から演習時間を増やしてほしいという意見もあったことから次年度の研修プログラムの内容・時間を講師とともに検討していきたい。研修を受けることで心の変化も見られ積極的な意見も出ていた。

#### <研修会の様子>



KYT トレーニングをしてみよう



与薬と看護 事例をグループで振り返る



移動動作を実際にやってみる



フィジカルアセスメントとは？